

2024年5月31日

九州実務補習所
2023 年 期 生 各 位

一般財団法人会計教育研修機構
九州実務補習所運営委員会

第4回ディスカッションテーマについて

2024年6月8日(土)開催

2024年6月8日(土)に開催する「第4回ディスカッション」のテーマが、下記のように決定いたしました。

記載のテーマを読み、各自の考えをまとめてくるようにしてください。
なお、関連資料は各自で集めてくるようにしてください。

テーマ1 (フリーディスカッション)

現在、多くの上場会社では、有価証券報告書の提出は株主総会と同日または後日に開示しているケースが大半であり、総会前に開示しているケースは極めて少数となっています。一方、海外の機関投資家からは、「日本では有報が株主総会后に提出されることが多いため、世界の投資家にとってその価値は限定的である」として、株主総会前の提出が求められています。

これを受けて、金融庁でも情報開示のタイミングに関し、投資家が必要とする情報が効果的・効率的に提供される必要があるとの課題認識が示されています。

このような課題に対して、考えられる具体的な方策を挙げたうえで、あなたが考える最も効果的な方策とその理由について述べてください。

テーマ2 (グループ討論)

2024年2月15日の内閣府の発表によると、日本の名目GDPはドル換算で4兆2,106億ドルとなり、4兆4,561億ドルだったドイツに抜かれて、世界4位に後退しました。日本はかつて経済大国でしたが、長年による景気低迷、低賃金による個人消費の落ち込み、さらに円安が加速したことを要因として後退しているものと考えられます。そして、このままのペースでは2025年にはインドの名目GDPは日本を抜き、日本は世界5位に後退すると予測されています。

名目GDPの回復に向けて公認会計士による会計監査を通じて、企業価値の向上に貢献できる余地があるか否かについて以下の立場に分かれて議論しなさい。

(GDPとは一定期間内に国内で生産された商品やサービスの付加価値の総額を表す経済指標である。また、企業価値の向上は、経済成長や雇用の拡大を実現しGDPの回復につながる。)

A案：企業価値の向上に貢献できる

B案：企業価値の向上に貢献できない

テーマ3 (グループ討論)

1班

2023年3月期から有報でサステナビリティに関する考え方及び取組の記載が義務化された。このように、近年投資家の非財務情報に対する注目が集まっているが、これらも監査対象に含めるべきか。

A案：賛成

B案：反対

2班

ダイレクトレポートを採用すべきか否か。

A案：採用すべき

B案：採用すべきでない

3班

ダイレクトレポートを日本で採用すべきかどうか。

A案：採用すべき

B案：採用すべきでない

※ レポーターは、論点整理をしたレジюмеをA4用紙1枚程度で作成して、6月5日（水）までに事務局へ1部提出すること。（FAXでもメールでも構いません）

さらに、ディスカッション当日に班人数分+担任分（最大19部）を用意してくること。
（事務局のコピー機を使用する場合は、原稿を1枚持参のうえ、時間に余裕をもって来ること。）

【レジюме提出先】

九州実務補習所 事務局

F A X : 0 9 2 - 7 1 5 - 3 6 6 4

M a i l : hokubuk-hosyu@sec.jicpa.or.jp

※ レジюмеには、補習生番号、氏名、班、テーマ（2か3か）、派（A案派かB案派か）、を必ず記載すること。

注 意：レポーターでディスカッション当日に出席出来ない事がわかっている場合、必ず出席する補習生と交代するとともに、その旨を事務局に連絡すること。

尚、レポーターが無断欠席した場合、既に取得した実務学習単位から3単位を減ずる場合があるので注意すること。